



名取市の国際交流に関する 展示のお知らせ 平成17年度名取市中学生海外派遣事業写真展

平成17年度派遣団長、佐藤孝氏が撮影した派遣中の交流のようすや、カナダの美しい自然や街並みの写真を展示しています。

日にち 9月26日(月)まで
場所 名取市役所1階市民ホール
「神社 de バザール」国際交流パネル展

名取中央商栄会・名取市商工会増田地区が主催する「神社 de バザール」に参加します。ぜひお越しください。

日時 9月23日(金・祝)
午後10時～午後3時
場所 増田神社(増田2丁目:増田公民館となり)および周辺商店街

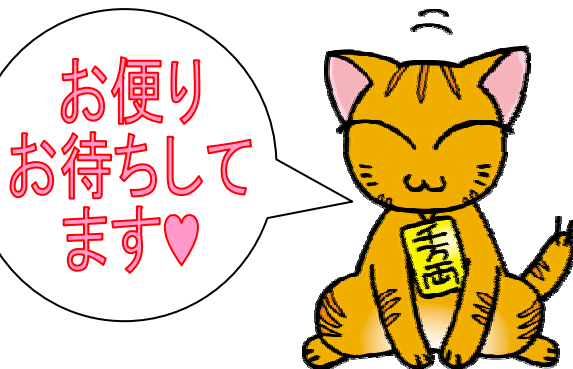
国際交流に関する情報・ご意見をお寄せください

「名取市在住の外国人の方でこんな人がいる」「国際交流で活躍している」「地区で国際交流に関する行事をします」など、市内の国際交流に関する情報や皆さんのご意見をお寄せください。

お寄せいただいた内容は国際交流ニュースレターの記事として、市民の皆さんにお知らせしたいと考えています。

投稿方法ははがき・FAX・メールなど、どのような方法でもかまいません。

ぜひ情報・ご意見をお寄せください。
[連絡先] 〒981-1292(住所記入不要)
名取市総務部総務課 FAX384-9030
E-mail soumu@city.natori.miyagi.jp



平成 17 年度名取市中学生海外派遣事業団員募集中

名取市国際交流実行委員会では平成17年度の海外派遣事業に参加する団員を募集中です。外国の文化に興味のある市内在住の中学2年生ならどなたでも応募できます。あなたも海外で友情の輪を広げてみませんか。

派遣時期 平成18年3月下旬～4月上旬(10日間程度)

派遣先 オーストラリア国ビクトリア州モナッシュ市

研修内容 ホームステイ、現地中学生との交歓、交流など

対象者 市内在住の中学2年生(公立校・私立校は問いません)

負担金 5万円(パスポート申請手数料などは別途個人負担)

応募方法 詳しくは各中学校や国際交流実行委員会事務局(総務課内)で配布する募集要綱をご覧ください。

応募締め切り日 9月30日(金)

提出先 市内中学校の通学者...在籍する学校の担任の先生に提出。市外中学校の通学者...名取市国際交流実行委員会事務局(総務課内)まで郵送(当日消印有効)するか、直接提出してください。

選考方法 抽選により決定します。(応募数、男女比により調整する可能性があります)

問い合わせは、国際交流実行委員会事務局(総務課広報広聴係内・3階内線317・327)へ。

特集 英語指導と国際交流の架け橋 外国語指導助手

名取市では二人の外国語指導助手(Assistant Language Teacher以下ALT)が、市内各中学校で英語指導の手助けをしています。名取市にALTが配属されたのは平成七年。当時からALTたちは中学校の英語指導だけでなく、小学校や幼稚園での国際理解教室などでも活躍してきました。多くの生徒たちは彼らによって「外国」への理解や興味を深めているようです。では彼らは名取に住み、このように感じているのでしょうか。今年八月に初めて名取にやってきましたJill先生と、今年三月目のKarin先生に伺いました。

増田中学校での初めての授業はいかがでしたか。

初めての授業は2年生のクラスでした。最初は少し緊張しましたが、大変おもしろかったです。ジョシヨウカイをしてから「タイフーン」というゲームをしました。生徒たちの英語能力に感心しました。

とても沢山の生徒がいました！日本の生徒たちはオーストラリアの生徒たちとそんなに違いません。彼らはどちらも月曜日の一時間目はまだ少し眠そうですが、どちらの生徒も昼食の後や体育の授業はとてもゲンキです。おそらく最も重要なことですが、彼らはど

ちらもほかの国について学ぶことに興味を持っており、どんなに似ている事もあるかに驚いています。日本でALTになりたいと思つた理由は何ですか。

私が中学生のころ、二年間日本語を勉強しました。日本語のクラスには、授業に興味深いものにするように手助けしてくれた、日本人のALTがいました。彼女によって、いつか日本を訪ねたいと思うようになったのです。日本でALTになる機会を知ったとき、それはとても素晴らしい考えだ、と思いました。できれば私を受け持った日本人のALTがしてくれたのと同じぐらい、生徒たちのために、私も授業に興味深い

ものにしたと思っています。名取で生徒に英語以外に教えたことはありますか。

大学では音楽を専攻しましたので、オーストラリアの音楽で日本の生徒たちと交流したいと思っていました。増田中学校ではすでにブンカサイで吹奏楽部とともに活動するという名譽をいただきました。英語ではなく、日本語で音楽家たちと活動することは、とてもやりがいがあります。主に興味があることは何ですか。時間があるときには何をしていますか。

日本語の勉強と漢字の練習をして、カラオケを楽しんで、作曲をしています。また宮城県を探検して写真を撮ることも楽しんでます。冬の間はスノーボードを習えれば良いなと思っています。



ウィリアム(ビル)・クーニー先生
(Mr. William (Bill) Cooney)
オーストラリア、ブリスベン出身
増田、関上、みどり台の各中学校を担当する外国語指導助手として活動しています。

名取はとても好きです。自転車に乗って名取の色々なところを探検するのが楽しんでいます。名取は私が中学校と高校に通った街を思い出させますし、皆さんとてもフレンドリーで助け

先輩のクリス先生は 名取のALTとして3年目を迎えました

もう1人のALTはカナダ出身のクリス先生。平成15年に名取市に来てから、ALTとしての生活も3年目を迎えました。

クリス先生にも、名取に住んでの感想などをうかがいました。



クリス・ハイド先生
(Mr. Chris Heyd)
カナダ、ダンカン出身。
第一・第二中学校の担当 ALT
として活動しています。

名取市と市民の皆さんや生徒の、最初の印象について教えてください。

名取は大体私の故郷と同じぐらいの大きさなので、比べることができました。派手なまちではありませんが、沢山の、本当に誠実でいい人たちがここに住んでいます。もちろん全てのタイプの生徒がいます。フレンドリーな子、シャイな子、頭がいい子、ワンパクな子、スポーツ好きな子。これは世界のどこでも一緒だと思います。

この2年間で一番印象的だったことは？

人々です。私はよく皆さんのお宅や外での夕食、ビールに招かれます。名取が友好的なまちだということが分かりました。

名取市で住んでいて、または教えていて困りごとはありましたか。

大体の私の困りごとは銀行、ATM、郵便局でした。なぜかというと、これらは仕事が終わる前に

閉まってしまうからです。私は1人で住んでいるので、時折日本で苦労することもあります。

職場では、先生たちがとても助けてくれるので、苦労があったことはあまりありません。

名取で好きなところ(店・場所など)はどこですか。

インドネシアレストランの「えなっ」や、ラーメン屋の「味一」が好きです。「極楽湯」にもよく行きます。

たまの夕方には家の近くの田んぼを歩いてジョギングします。とても安らかな場所だからです。

今年がALTとして最後の年になると聞きましたが、今年は何をしたい、またはどのように過ごしたいですか。

日本語の勉強をしたいですね。また日本の学校や生徒や先生についてもできるだけ学びたいですし、故郷に戻ってから日本について教えることができるよう、たくさん写真の撮りたいと思います。



▶楽しい授業に生徒たちの目も輝きます。

になってくれます。特に私が日本語に手こずっているときには、**名取市でどのような活動をしてみたいですか。**
太鼓と日本語を習ってみたいですね。
名取市の皆さんにメッセージをお願いします。
名取市で働き、暮らすことを楽しみにしています。私がおもつと日本語を勉強しようとして頑張っている間は、どうか私に耐えてください。ドゥン、ヨロシクオネガイシマス！



▶ビル先生が出す英語の質問に答えて点数を取るゲーム「タイフーン」。白熱しました。

英語担当の先生に ビル先生とALTについて うかがいました



増田中学校英語科
堀田 理永先生

ビル先生と一緒に授業をしての感想をお聞かせください。

まず第一に“teacher”としての自覚をしっかりとって授業に臨まれている姿に感銘を受けました。

勉強熱心で、研修で手に入れた資料などを手に、いつも授業についてアイデアをねっています。とても頼もしい先生です。

ALTの生徒たちへの効果・影響について教えてください。

ALTの先生が来てくれるだけで、とにかく生徒の目は輝きます。

ALTの先生が話して下さる他国の習慣や文化、あるいは先生自身が体験して驚いた日本でのできごとなどの話も、生徒たちが楽しみにしていることのひとつです。

他国からいらっしゃるALTの先生と直接触れ合うことで、生徒たちの意識が海外に向けられることも、うれしい影響と言えます。

名取市に初めてALTが配置された平成七年当時、ALTはオーストラリア出身の先生一人でした。三年後の平成十年から二人体制となり、現在に至ります。

ALTは地方公共団体、総務省、外務省、文部科学省、および財団法人自治体国際化協会(CLAIR)が協力して推進するJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業: The Japan Exchange and Teaching Programme)の職種のひとつです。

自治体国際化協会のホームページによると、JETプログラムの目的は「外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進すること」と記載されています。

インタビューの内容からも、名取市の二人のALTは、日本語や日本の文化などに大変興味があり、学校で英語を教えるだけではなく、地域の中での交流にも積極的であることがわかります。まさに国際交流の架け橋といえるでしょう。

今回写真を撮るために、増田中学校でのビル先生の授業(二年生)を見学しました。堀田先生のお話のとおり、生徒たちはビル先生の話に興味津々で、先生の話す英語にじっと耳を傾けています。

授業で行われたゲームでは、ビル先生の自己紹介に関する問題が英語で出されました。最初は「みんな英語を聞き取れるのかな？」と思っていました。生徒たちが「ハイ！」と手をあげて正解するのにはこちらがびっくり。中学二年生の英語力に感心すると同時に、若いうちから生きた英語に触れる機会があることをうらやましく思いました。

二人のALTの影響を受けて、今度は名取市の生徒たちの中からも、海外で活躍したいと思う生徒が増えてくるかもしれませんね。